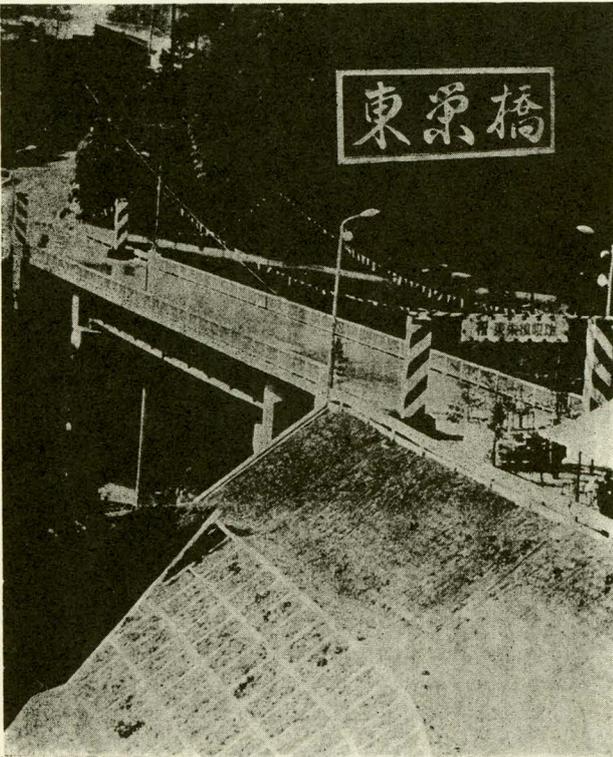


東 栄 広 報

編集発行 愛知県北設楽郡東栄町役場 TEL 44・47・76



建設へのあゆみ

忍ばれる
春の香に
日ざしのあたたかさが
にこやかに笑っていました

ひとつの橋が
たづさわるひとびとの
愛と力にはぐくまれ
誕生しました
東栄橋といます

若い橋です
力づよい建設へのあゆみが
いま訪れようとしています
東栄橋を
東栄町へと……

東

栄 しゅん功式から

橋

きびしい冬の寒さを忘れようとする三月の陽に映えて朱色の橋体はあざやかに浮いていた。東栄の表玄関、その名にふさわしく「東栄橋」と名づけられたもうなづける。「あしたに架ける橋だ！」ひとりの青年がそうよんでいた。「あした」とは新しい町づくりを意味するのである。編集部ではその日の話題を現地に拾ってみた。春を忍ぶ暖かい日ざしの下で――。

現地から

午前10時

渡橋式の現地向う車に便乗して編部がかけつけたのは午前10時――。まず、春に向う暖かい陽しの下であざやかに映える朱色の橋体とびこんでくる。冷水に洗われた橋上には美しい新緑の影が落ちていた。付

近の小高い丘から向けたカメラのレンズの中で保育園児の手にする小旗の波が、地元の人々のよろこびを物語っているかのようだ。ゆるやかなSカーブを中断するように彩やかな建築の美を誇らしくたたえた橋体は、まさに東栄の表玄関とよぶにふさわしい。人知れず拍手を送りたし心になる。通りがかりのトラックを止めて運転手に話しか



テープにハサミをいれる桑原知事

午前10時30分

黒塗りのクラウンが入ってきた。車内から元氣な知事の顔がのぞく。「おめでとう」と付近の人々にひとこと。応えて人々の顔がほころぶ。ほほえましく歓迎と祝いの風景――。町民と

けてみた。「ありがたいですねえ。ともかく旧道はこの急カーブと小さな橋でしょう。この新しい橋の完成を今か今かと待っていたんです。なんとなく晴れ晴れとした心持ちです」としきりに笑顔。

あしたに 赤糸を かける橋

かける橋

よるこびをともにするこの日の知事は、決して遠い人ではなかつた。参列の保育園児から町民はもとより、知事、国会議員にしてもよるこびの心はひとつなのだ。子供たちの心につなぐ思いが未来への建設の石づえ

午前10時40分

式は神事によつてその日の幕を切った。神前に祈る人々の心には、ただひとつの橋の完成を祝う気持ばかりがありはしないだろう。こうしたひとつひとつ

午前10時50分

黄金のハサミが知事の手によつて紅白のテープに入った。一瞬、よるこびをおさえていた人々の心は感激の拍手に変つて橋

とよんだ青年のいたことを取材の編集部員は誇らしく思った。

祝賀会から

午前11時

上を埋めた。タヌ玉から流れる切紙を肩に受け、踏みだした一歩、一歩の足もとから、新東栄建設の音があがるように思つた。付近の森に待機した係員の手で打たれた祝砲「煙柳」は赤、緑、黄と三色の煙を流して春を待つ風に乗った。よるこびは高く青空にまで伸びてゆく。太陽もこの日は笑っていた。

この日の祝賀会場は中央小学校に設けられた。区民代表と関係者に埋められた会場には各地から次々と祝電が舞いこむ。ここでも、この日のよるこびをおさえ切れずに会場の空気ははづんでいく。地元の人々の「東栄橋」完成への夢は、いまここに結実して、更に燦々とした木橋へもまたかぎりなく夢はたくされいくことである。

思うに、ひとつの構造物を組み立てるとき、そこには正確に計算された設計図と、洗練された技術が必要とされる。更に近代的技術とは、設計図に忠実に組み立てるのみでなくそこにはあらゆる意味での美術まで要求される。その点、東栄橋については、基礎から橋体に至るまで、すべて美しく組まれた。設計者と工事担当者に対して心から祝辞を送りたいものだ。あらゆる意味でこの橋にかけられた期待と祈りとは大きく、更にまた完成したいまそのよるこびは大きい。夢は次々と飛躍し、国道、飯田豊橋線が産業道路として完全整備され、東栄、豊橋一時間の特急線などいかなものだろう。私達のふるさと「東栄」が新産業を求めて飛躍しようとする今日、夢はますます、道路からというところか、ともあれ夢を夢として終るまいと、取材にあたってそう祈った。(編集部)

議 会 報 告

東栄町議会定例会は三月五日午前十時開会十八日間の会期をもって三月二十二日閉会した。審議された議案は次の通りであります。

○常勤特別職の給与及び旅費の支給条例の一部改正
 ○東栄町教育長の給与その他の勤務条件に関する条例の一部改正
 ○東栄町職員の給与に関する条例の一部改正
 ○人事院勧告による国家公務員の給与ベースの改訂に伴う条例改正で一般職員の給与改訂に伴い、助役、収入役、教育長の給与が改正された
 ○東栄町税条例の一部を改正する条例について
 大綱を昭和四十年年度に限り四月を七月に七月を九月に変更

○東栄町家畜管理所及び肉類半共同出荷所設置条例の一部改正
 註、種付料の増額改正
 ○東栄町財政調整基金条例制定
 註、町の財政調整積立金と国民健康保険、保険給付準備金積立金を定め、本年度積立額は財政調整積立金 七百万円、保険給付準備積立金五百万円
 ○東栄町国民健康保険料賦課基準について
 註、保険料徴収の基礎となる資力等級表を決定
 一、資力割 百分の五八
 二、均等割 百分の二五
 一、世帯平等割 百分の一七
 ○東栄町農山村振興協賛会条例廃止
 ○要知果市町村職員退職手当組合規約変更について
 ○昭和三十九年度東栄町一般会計予算について

註、既定予算二〇、一三六千円に一三、八〇〇千円を追加し、一三三、九三八千円となり昭和三十九年度東栄町予算総額となつた
 歳入の重なるものは
 町税 三、七二八千円 地方交付税 九、四二二千円 繰入金 三、七四二千円等歳入増公営住宅建設中止により歳入補助金五、七〇〇千円 地方債三、五〇〇千円が歳入減となつています
 歳出の重なるものは
 財政調整積立金七、〇〇〇千円を始め、給与改訂による人件費
 役場用地(車庫用地)購入費 山間委園造成事業補助道路橋梁費等であります
 ○昭和三十九年度国民健康保険特別会計予算修正について
 ○昭和三十九年度農業共済特別会計予算修正について
 ○東栄町農業共済条例の一部改正



眠れる 観光資源

「燈台もと暗し」といふことばをご存知だろうか。解説するまでもないが、意外なところでのこの格言の意味を思い知らされることがある。

「山と川のある町」といえば「溪谷美」ということに関する。このふたつのははまるで関連がない。ところが、それを結びつけてみようと思ふのだが、東栄町を北西から南東にかけて縦断する振草川。その近にはおおいへくなく素晴らしい溪谷美が展開されている。ところが、その溪谷美を毎々に眺めて暮らす地元人間は「美しいなど」とんでもない」と知らぬ顔である。当然のことである。これを「燈台もと暗し」とよんだ



写真はえ淵のポットホール

このスジが流れによって小さなくぼみとなる。その中に小石が入りこんで水流の作用で回転し、次第に穴を大きく形づくってゆくのである。東栄町に存在するこれらのポットホールは、合最大のもは直径三メートル以上、深さ五メートル以上と突るまでには何万の年月を経たものと推測される。

去る三月半ば、成漢大学教授伊藤隆吉氏(ポットホール研究の第一人者)の観測によつて、えぶらのはそれは日本一、あづかりの滝のそれに似ては実に世界一のの折り紙をつげられた。近々学会に発表され文部省から天然記念物の指定を受けることになつてゐる。こうした世界的観光資源を眼の前にして指を喰わしている手はなからう。地元自身が今、これを再認識し、更に積極的に開発PRしなくてはなるまい。ダイヤでも原石のままでは石ころにも等しいのだ。(編集部S)

歳 入

款	項	金額
1. 町 税		33,745
	1. 市町村民税	7,364
	2. 固定資産税	13,274
	3. 軽自動車税	1,271
	4. 市町村たばこ消費税	4,921
	5. 電気ガス税	1,715
	6. 木材引取税	5,200
2. 地方交付税		50,000
	1. 地方交付税	50,000
3. 負担金及び金		2,517
	1. 負担金	2,517
4. 使用料及び手数料		1,650
	1. 使用料	793
	2. 手数料	857
5. 国庫支出金		7,074
	1. 国庫負担金	4,431
	2. 国庫補助金	2,124
	3. 国庫委託金	519

歳 出

款	項	金額
6. 県支出金		9,272
	1. 県 負担金	1,168
	2. 県 補助金	7,071
	3. 県 委託金	1,033
7. 財産収入		1,318
	1. 財産運用収入	228
	1. 財産売却収入	1,090
8. 寄付金		8,571
	1. 寄付金	8,571
9. 繰越金		5,131
	1. 繰越金	5,131
10. 諸収入		2,720
	1. 延滞金加算料	80
	2. 金及び過剰子	200
	3. 雑 入	2,440
歳入合計		121,998

歳 出

款	項	金額
1. 議会費		4,832
	1. 議 会 費	4,832
2. 総務費		27,964
	1. 総務管理費	19,419
	2. 徴戸登録費	5,051
	3. 戸籍録筆費	1,626
	4. 統計調査費	1,558
	5. 統計調査費	273
	6. 監 査 費	37
3. 民生費		14,519
	1. 社会福祉費	5,140
	2. 児童福祉費	9,379
4. 衛生費		4,624
	1. 保健衛生費	4,624
5. 農業林水産費		8,423
	1. 農 業 費	7,978
	2. 林 業 費	445
6. 商工費		1,092
	1. 商 工 費	1,092

歳 出

款	項	金額
7. 土木費		23,794
	1. 土木管理費	3,439
	2. 道路橋梁費	20,101
	3. 住 宅 費	254
8. 消防費		7,298
	1. 消 防 費	7,298
9. 教育費		24,106
	1. 教育総務費	3,731
	2. 小学校校費	12,541
	3. 中学校校費	6,254
	4. 社会教育費	1,053
	5. 保険体育費	527
10. 災害復旧費		555
	1. 災害復旧費	555
11. 公債費		3,791
	1. 公 債 費	3,791
12. 予備費		1,000
	1. 予 備 費	1,000
歳出合計		121,998

昭和四十年 東栄町一般会計歳入・歳出予算

三月の行事

- 1日 縫製加工品講習会(本郷高校)
- 2日 共同納税相談(本庁)
- 3日 共同納税相談(本郷高校)
- 4日 共同納税相談(本庁)
- 5日 共同納税相談(本郷高校)
- 6日 共同納税相談(本庁)
- 7日 共同納税相談(本郷高校)
- 8日 共同納税相談(本庁)
- 9日 共同納税相談(本郷高校)
- 10日 共同納税相談(本庁)
- 11日 共同納税相談(本郷高校)
- 12日 共同納税相談(本庁)
- 13日 共同納税相談(本郷高校)
- 14日 共同納税相談(本庁)
- 15日 共同納税相談(本郷高校)
- 16日 共同納税相談(本庁)
- 17日 共同納税相談(本郷高校)
- 18日 共同納税相談(本庁)
- 19日 共同納税相談(本郷高校)
- 20日 共同納税相談(本庁)
- 21日 共同納税相談(本郷高校)
- 22日 共同納税相談(本庁)
- 23日 共同納税相談(本郷高校)
- 24日 共同納税相談(本庁)
- 25日 共同納税相談(本郷高校)
- 26日 共同納税相談(本庁)
- 27日 共同納税相談(本郷高校)
- 28日 共同納税相談(本庁)
- 29日 共同納税相談(本郷高校)
- 30日 共同納税相談(本庁)
- 31日 共同納税相談(本郷高校)